

ステージ通信



Vol.16 2007 春

Pre-stage Voice 1

小倉のNew Generations～

NGTとシアターラボが育てる 新しい演劇人たち。

Pre-stage Voice 2

THEATER View FUKUOKA 編集長エッセイ
前のめり観劇のススメ。①

Resonance in HIBIKI HALL

マルチな才能が奏でる、20世紀の室内楽の名品

野平一郎と仲間たち①

Stage Preview 15

東京タワー オカンとボクと、時々、オトン

ラッパ屋第33回公演「妻の家族」

恋の骨折り損

怪談牡丹燈籠

イッセー尾形のとまらない生活2007in小倉

いとこ同志

子供のためのシェイクスピアカンパニー「夏の夜の夢」

ブロードウェイ・ミュージカル「ピーターパン」

月猫えほん音楽会2007

ひとみ座 ひょっこりひょうたん島

松竹大歌舞伎「二代目中村錦之助 関名披露」公演

山海塾「時のなかの時」とき」

シティボーイズミックス PRESENTS「モーゴの人々」

合唱物語「わたしの青い鳥2007」

2007響シリーズ第1弾／ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル

仲道部代の「光のことたち」

2007響シリーズ第2弾／工藤重典&ジェフリー・グライス デュオ・リサイタル ほか

演劇・音楽とせとら 連載コラム 23

演劇・音楽 / Audience Impression～観客席から～

Program Calendar 25

北九州芸術劇場チケットクラブのご案内／響ホール「友の会」のご案内 26



北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-11 リバーウォーク北九州6F

TEL 093-562-2655 FAX 093-562-2526 (5F芸術文化情報センター)

<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp>

●新幹線:新幹線小倉駅より西小倉駅へ2分、西小倉駅より徒歩3分

●空港:北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分

●JR:小倉駅より徒歩10分、西小倉駅より徒歩3分

●乗用車:北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分

●専用の駐車場はございません。リバーウォーク北九州(1時間300円)ほか周辺の駐車場をご利用ください。尚、公演時には劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています。(第2パーキングでは土日祝のみご利用可)



響ホール HIBIKI HALL

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1国際文化交流センター内

TEL093-662-4010 FAX093-662-0100

<http://www.kicpac.org/hibiki/>

●JR:鹿児島本線八幡駅下車、徒歩約10分。

●バス:西本町・八幡駅前下車 徒歩約8分

市立八幡病院前下車徒歩約5分/国際文化交流センター前下車徒歩約2分

●乗用車:都市高速道路、大谷ランプから車で10分。

ステージ通信Qへのご意見・ご感想をお寄せください。●暖かな陽射しとともに、出会いの季節が訪れました。初めて会った日の感動が、いつまでも色あせない。時を重ねるたびにその思い出が鮮やかに蘇る。そんなしあわせな出会いがあれば、毎日をもっと素敵になるはず。北九州芸術劇場、響ホールでは、今回も多彩なプログラムで感動の出会いを演出。さあ、この春、新しいときめきに会いに来ませんか。みなさんからの観劇のご感想なども掲載いたしますので、ぜひお寄せください。劇場及び北九州芸術文化振興財団のホームページから「ステージ通信Q」アンケートにアクセスできます。＝「ステージ通信Q」ではみなさまのご意見、ご感想をお待ちしています。

〒803-0812北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5階 北九州芸術劇場 芸術文化情報センター「Q感想」係
FAX093-562-2526 MAIL:info@kicpac.org

Ticket Information

財団主催・共催公演チケットのお買い求めは

お電話で

お電話でご予約後、店頭でお引取りください。

TEL.0570-02-9999

[音声自動認識 10:00～23:30]

TEL.0570-02-9966

[Pコード予約 10:00～23:30]

TEL.0570-084-008

[Lコード予約 24時間]

電子チケットぴあ

ローソンチケット

窓口で

下記プレイガイドに直接お越しください。

北九州芸術劇場プレイガイド

●チケットお取り扱い 10:00～19:00

北九州市小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F

●クレジットカード可

〔問〕芸術文化情報センターTEL093-562-2655 (10:00～20:00)

響ホール・事務局

●チケットお取り扱い 9:00～17:00

北九州市八幡東区平野1-1-1 (国際文化交流センター内)

●一般発売初日のチケット発売は10:00からです。●クレジットカード不可

〔問〕TEL093-662-4010 (9:00～17:00)

〔財〕北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課

●チケットお取り扱い 9:00～17:00 (土・日・祝日休み)

北九州市八幡東区中央2-1-1 レインボープラザ7F

●一般発売初日のチケット発売は10:00からです。●クレジットカード不可

〔問〕TEL093-663-6661 (8:30～17:00)

電子チケットぴあ

●電子チケットぴあ店舗

ファミリーマート、サークルK・サンクス

〔問〕TEL0570-02-9111 (10:00～21:00)

●コンビニエンスストアをご利用の場合、子ども券の購入は、お電話などでご予約後のお引き換えのみご利用いただけます。

ローソンチケット

●ローソン [Loppi (ロッピー)]、ダイエー店頭 (一部)

〔問〕TEL0570-000-777 (音声案内24時間)

インターネットで

下記のサイトからお申し込みください。

北九州芸術劇場

<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/tguidance/main.html>

※北九州芸術劇場以外の会場の公演チケットはお買い求めいただけません。

電子チケットぴあ

<http://t.pia.co.jp/kyushu>

●公演によっては上記以外での取り扱いもございます。

ステージ通信Q

に関するお問合せは

〔財〕北九州市芸術文化振興財団

☎093-562-2655



泊篤志〇とまりあつし 68年 北九州市出身。北九州大学在学中、演劇研究会で上演作品の執筆・演出を担当。後、東京で約2年TVゲームのシナリオ等の仕事をし、北九州に帰郷。93年「飛ぶ劇場」に復帰し、以来、戯曲・演出を担当。97年「生息系カズン」で第3回日本劇作家協会新人戯曲賞を受賞。99年、作品「IRON」が第44回岸田國士戯曲賞最終選考にノミネートされる。現在、北九州芸術劇場 学芸係ディレクターとして勤務。また、各地でワークショップ講師や外部脚本執筆、演出などの依頼に応じている。

Next Generation's Theater & THEATER LABO

後進を育てる旗振り役として

表題の育成プログラムを手掛けているのは、北九州芸術劇場の学芸ディレクター・泊篤志だ。劇団「飛ぶ劇場」主宰でもある泊は、以前から九州から新たな演劇人を輩出するための「旗振り役」を自称している。

「僕は劇場のブレ・オープンや地元演劇祭にスタッフとして関わり、早くから自分の劇団活動以外にも、北九州市の演劇振興をどうすべきかを考える立場にいたんです。劇場の二人のプロジェクト・デューサーはそれぞれ関西・関東出身でしたし、だったら地元演劇を熟知した人間が若手をサポートし、九州の演劇シーンを盛り上げるためのあれこ

れを担当すべきだ、それこそが僕のミッションだと。飛ぶ劇場単独では出来ない、予算や場所、スタッフワークが必要な育成プログラムはミッションの重要項目です」

その二本柱がシアラボとNGT。戯曲講座から生まれた戯曲の上演が目だったシアラボは、今回から「期間限定劇団」という新展開に。また3年の期限つきで始まったNGTもファインナルとなる。

「若手劇団に上演機会を与えたNGTでは、劇場と関わるのがどういうことをまず知って欲しかった。期せずして同じ三劇団が3年連続で公演することになりましたが、その分劇場での公演に対する蓄積や理解は深めてもらえたのではないかと思います。2年目からは上演作に共通テーマを課したりなど、作・演出家の鍛錬の場にもなりましたし、ただズルズル続けても意味はないので、やはり今年が最後です。

シアラボも、戯曲講座がベースとは言え次第に上演に重心が置かれるようになり、本来の育成に力点を戻す

【NGT・シアターラボとは】

05年から始まったNext Generation's Theaterは次世代の若手クリエイターに活躍の「場」を用意し、劇場スタッフの協力の下に公演を行う企画。北九州市内を活動拠点にする、20代の作・演出家のカンパニーで、今後の活躍が期待出来るという3つの基準をクリアした集団が選ばれ、結果として3年連続で「のこされ劇場」「劇団二番目の庭」「さかな公園」が参加する。二年目は「愛と平和」、今回は「文豪の作品を原作とする」という課題が設けられた。また今回はドラマドクターとして、劇団今太陽族の岩崎正裕氏を迎えている。

シアターラボは北九州芸術劇場オープン前の「シアタープロジェクト2003」時代にスタート。戯曲講座で生まれた戯曲を、講師である作・演出家らと地元劇団の俳優により上演する形で回を重ね、鈴江俊郎、西田シャトナー、ベーター・ゲスナー、川畑秀樹、松本祐子氏の指導を受けて来た。

ためには半年間、技術を含めた複数のワークショップを受講し、最終的には劇団としてゼロから作品上演までを経験するのが一番ということになった。これまでのワークショップでは出会えなかったメンバーが集まり、稽古に入った今も、新鮮かつ熱意のある空気が保てていると思います」



NGT06より、のこされ劇場「つる〜あの日飛び去った夕鶴によせて〜」

NGT06より、さかな公園「明日のマコ」

小倉のNew Generations~

NGTとシアターラボが育てる新しい演劇人たち

創作をめぐる幅広い活動を標榜し、「創る」「育つ」「観る」の三つの柱を掲げてきた北九州芸術劇場。その「育つ」の核の一つとなっているプロジェクトが、「シアターラボ(シアラボ)」と「Next Generation's Theater(NGT)」だ。劇場オープンから3年。プロジェクトは、大きな転換点を迎える。小倉発、次代の演劇を担う、プロジェクトを体験・運営する演劇人から、「育つ」実感と手応えをきいた。

構成・取材・文／尾上そら 撮影／梅本昌裕(シアターラボ稽古場)、隣篤史(NGT06舞台写真)



NGT06より、劇団二番目の庭「No Good Tales」



シアターラボ2007照明講座

Q あなたにとって 室町モルモット団とは?

(写真左上から)

- 渡邊貴裕
「自由な自分を出せる、オープンスペースです」
- 光来出康
「構み家(多分家にいる時間より こちの占める時間のほうが長いですから)」
- 大淵雄一朗
「写はサラリマン、夜は…あたいなもの」
- 伊藤圭司
「はじめてあげるプレゼントのひも」
- 村門耕多
「通過地点」
- 矢野直
「旅費シューズの一口目」
- 米倉沙衣子
「学べて遊べて友達もたくさん学校」
- 東田紀子
「芝居の楽しさを教える再確認させてくれる場」
- 庵原陽子
「へんきょうへや」
- 石田磨矢
「心置きなく真摯に夢中になれる場所」
- 広瀬恵
「泥山の素直な出会いを乗せたタイムマシーン」
- 永嶋桂子
「銀河鉄道の夜」の世界を共に生きる仲間です」
- 佐藤恵
「心から芝居を楽しめる大好きな空間です」
- 萩原あや
「フランス料理フルコース(ワインつき)」
- 増本恵美
「泊さんが作ったジャングルジムで、 跳びながら楽しんでいる感じ」
- 梨田麻衣子
「演劇モルモットディナー人達に会える場所」
- 市原佐都子
「ワクワク! いろいろ人がいて やることあって楽しい!」
- 土肥聖子
「みんなの出演中、 たくさんの目的地へ向かっている」



Next Generation's Theater & THEATER LABO



稽古場に隣接した部屋では、舞台美術班が劇場スタッフの指導を受け、つつましく作業中。舞台を支えるさまざまな技術まで学べるのが、シアターラボの特色だ。稽古休みの日には、全員が大道具・小道具製作の作業に当たる。

新たなシアターラボの アツき稽古場の日々



始めはこじんまりしていた稽古場も、教室のシーンではテンション・アップ!でも「もっと好き放題やって。自然にまともは出て来るから」と演出・泊はさらに煽る。

稽古開始から3日目だというのに、新体制のシアラボ・室町モルモット団による「想稿・銀河鉄道の夜」の稽古場は、本を持つ者こそいるが立ち稽古に入っていた。劇団名も上演作品も、参加者全員による徹底した議論を経て選んだこの現場に迷いはなく、本番に向けた全力の稽古あるのみ、という体制になっている。

3/23-25

シアターラボ2007 室町モルモット団公演

『想稿・銀河鉄道の夜』

～世界でいちばん最後に幸せになる人のために～

- 原作 宮沢賢治 ●作 北村想 ●演出 泊篤志(飛ぶ劇場)
- 出演 庵原陽子、市原佐都子、伊藤圭司、大淵雄一朗、佐藤恵、永嶋桂子、梨田麻衣子、萩原あや、東田紀子、広瀬恵、増本恵美、米倉沙衣子、渡邊貴裕(以上、室町モルモット団)

全席自由 ¥1500(当日 ¥2000) *未就学児はご入場できません。託児をご利用ください。

3/23(金)19:00 24(土)14:00/18:00 25(日)14:00

※開場は開演の30分前

チケット好評発売中

電子チケットぴあ・Pコード ●373-844 ローソンチケット・Lコード ●86092

験者ならではの収穫が語られる一方、「正直言えば、技術の授業にはチンパンカンブンのもの(笑)。でも舞台を観る時に照明や美術にも目が行くようになりまし」と、今春から大学の演劇科に進学する市原の初々しい感想もあり、この場が演劇経験の違う参加者それぞれに刺激を与えるものであることが伺われる。

この日、稽古は終盤まで進み、泊はクライマックスの演出に何かヒントを見つけた様子。可能性を山積みにした室町モルモット団の旅は、さらに加速しそうだ。

「自分の仕事の間近にすることで意識が変わる。これでなければダメ」という一曲を選ぶための作品理解や感覚を知ること、得がたい勉強(石田)、「普段は予算内でものを作ろうとして発想が狭まりがちですが、芸術としての質をいかに上げるかを重視する目標の必要性をここで教えられました(伊藤)など、経

るようだ。学校や仕事を終えて来るメンバーもいるため、最初はジョバンニとカンパネラだけのシーン。

「もつと男の子っぽい仕事を意識したほうがいいな。舞台空間を広く使って」と、演出・泊がひとつひとつ確かめるように丁寧に指示を出していく。ジョバンニとカンパネラを演じる梨田と市原は大学生と高校生。劇団員は17〜35歳までおり、演劇・人生経験共にバラバラだからこそ味わいが、こんな初期段階の稽古でもそこそこ感じられる。

【このされ劇場】 市原幹也

日頃は演出のみの市原は、今回のNGTで初の長編戯曲執筆に挑戦。題材は私小説の祖である田山花袋の「布団」だ。「NGTでの3年は、僕にとってそのまま劇団の歩みと重なるもの。芝居を始めた当初、同世代で面白いことをやろうと合同公演を仕掛けたりした、そういう流れの延長にNGTはあると思うんです。だからここで身に着けた、劇場公演のための知識や技術などに加え、僕ら世代が認知されつつある手応えが何よりの収穫だと思っています。」

今回は、普段は演出家である僕が戯曲を書くことが新たな挑戦。既存の本を現場検証のように読み解き、そこからイメージを抽出するのは得意でも、自分で書く意味も必要性も感じていなかった僕に、岩崎さんは「君だけの言葉や語り口がある。そこに自身の体験を反映させて書け」

「文豪作品」を原作に
NGTファイナルへ三主宰の意気込み

【さかな公園】 鶴飼秋子

劇作家として評価を獲得しつつある鶴飼は、萩原朔太郎の詩集「月に吠える」を短編オムニバス芝居に仕立てた。

「3年を振り返ると、ただ「自作を上演したい」という段階から、戯曲の世界観に縛られない演出への挑戦や、今回のように「理屈では説明しきれない」ものを書いてみるなど、NGTは私にとって確実に修業の場でした。物語をウエルメイドに収めがちな私には、「言葉を越えて人と何かを共有する瞬間を作る」朔太郎の詩に取り組むことで、弱点など自作に對しての発見も多々ありました。」

ただ「次世代」という冠は、いまだに外からつけられたという感覚で、今後も世代感を特に意識して活動することは、ない気がします。私がやるべきことは、眼前の作品一つ一つを心を込めて創り、さかな公園のカラーを確立させることや、北九州にこだわって演劇をすることの意を自分なりに考えていくことじゃないかと。今は作・演出にかけるエネルギーが6、7割で、残りが飛ぶ劇場での俳優

「はい」と言ってくれた。結果、虚実が混在する私戯曲的なテイストで、人間男の普遍的な煩悶を立体化することが出来たかな。と。ストーリーが明確にあることで演出も自ずと変わりそうですが、自分の戯曲だけに、いつも以上に徹底的に再解釈してやろうと思っています」



いちばら・みきや／03年、このされ劇場＝を旗揚げ。台本に別の世界を画しながら立体化する「二重舞台」の手法や、劇中にリアルタイムの映像を取り入れるなど、演劇に留まらないパフォーマンスの演出で各方面の注目を集める。

【劇団二番目の庭】 藤本瑞樹

芥川龍之介の「歯車」他数本の短編を素材に、藤本は「崩壊」を書き下ろした。「NGTに参加したことで、公演を打つことに関して僕ら劇団に何が欠けているか、どこが問題点かということに自覚的になりました。3年連続で参加することには、劇場との癒着を勘ぐられるのではと(笑)気になったりもしましたが、統

活動。どちらも不可欠で、好きな役者をやることが演出に生きる場合も多いのです。この両輪が必要と気づけたのも、NGTのお陰ですね」



うかい・あきこ／01年飛ぶ劇場入団。03年よりオリジナルの作・演出作品を上演する。日常に潜む些細な感情や出来事から、体温ある台詞で独自の物語を紡ぐ。06年さかな公園旗揚げ。現在、飛ぶ劇場の女優・内田ゆみ、内山ナオミが参加している。

最後にもう一度、ディレクターの泊にプロジェクトの今後を聞いた。

「NGTの参加者には、『あとは自分たちで道を拓け』と言いたい。何らかの変化・収穫はあったはずで、それをいかに先に繋げるかは当人次第。その先」を是非見せて欲しいです。新体制のシアラボは、結果がすぐ出るとは思えませんが3年は継続します。ただ、育成プログラムは受ける側にも自覚や覚悟がなければ成果は上がらない。参加者には、劇場を利用するぐらいの気持ちで、積極的に挑戦して欲しいですね」

Next Generation's Theater 2007



5/11-13 北九州芸術劇場【小劇場】
劇団 二番目の庭
『崩壊』
●原作 芥川龍之介「歯車」「河童」「夢」
●作・演出 藤本瑞樹
5/11(金)19:00 12(土)14:00/18:00 13(日)14:00
全席指定 ¥1500 (当日 ¥2000)
●問合せ 劇団 二番目の庭 info@2nd-garden.com

5/18-20 北九州芸術劇場【小劇場】
さかな公園
『月に吠える』
●原作 萩原朔太郎「月に吠える」
●作・演出 鶴飼秋子
5/18(金)19:00 19(土)14:00/19:00 20(日)14:00
全席自由 ¥1500 (当日 ¥2000)
●問合せ さかな公園 093-372-0299



4/27-28 北九州芸術劇場【小劇場】
このされ劇場＝
『蒲団-futon-』
●原作 田山花袋「蒲団」
●作・演出 市原幹也
4/27(金)19:00 28(土)14:00/18:00
全席自由 ¥2000 (当日 ¥2500)
●問合せ このされ劇場＝ 080-3951-3490



ふじもと・みきや／00年、劇団二番目の庭を結成。全作品の作・演出を手掛ける。ズレや奇妙さなどの「おかしさ」にこだわり、ユーモラスな人々とその生活を描く。興味が上から具体的なものに権力排除して観客の想像力を刺激し、独特の空気を創り出す。

「なければ見えて来ないこともありまし、何より『文豪作品を原作に』というお題が、本書きの僕には魅力的だった。書きたいことを探るために資料を読む、という普段とは逆の作業を経験し、ドラマドクターである岩崎さんには、いつもは稽古が進まなければ気づかない、無意識の内にしてしまう「逃げ」、こ都合主義な書き口などを早い段階で気づかせてもらえました。本は昨年より納得の行く仕上がりになりつつあるし、俳優もクセ者がそろいました。僕は演出力不足なので、本と俳優で打てる手は全部打っておこうと。予想外の3年目ですが、サポートして頂いたスタッフの方には成果を見せたいし、この先自力で北九州芸術劇場公演できるかを計る一歩だとも思うので、気を抜かず臨みたいと思います」

前のめり観劇のススメ。



おせいかい補足 で、チラシって どこにあるの？

一番手っ取り早いのはチケットぴあなどのプレイガイドや劇場・ホールに行ってみることでしょうか。チケット発売中や公演日に近い作品のチラシが集まっています。そのほか、何か一つお芝居を観に行くときと多くはチラシの束を手渡されるので、そこで入手。

チラシで選ぶ

芝居のチラシは、その公演を観る側の全身全霊が込められています。たった1枚のチラシで多くのお客さんを呼ばなきゃならない、たくさんあるチラシの中から目立つかが勝負。そして今の時代、そのデザインセンスさえも芝居のセンスがプラスされてしまう。自分のアンテナに響いたチラシを見つけたら足を運んでみる。観た後の感想が、あなたの感性への答えです。さあ自分探しに、劇場へ。



私が芝居を好きなワケ。初めて芝居を観た衝撃が、今でも鮮明に思い出される。勝手な持論ではありませんが人間ってダイレクトなものに、より心を動かされると思うのです。テレビで観る高級フレンチのグルメレポートより、今日食べたカフェのデザートが美味しさの方が鮮明に脳裏に焼き付くもので。言ってみれば、芝居を観るということとは、私にとってテレビドラマよりかはるかに心に印象づけられる出来事があるということ。セリフのひとつひとつだったり、役者の動きだったり、舞台のセットだったり、演出だったり。

今でも思い出す舞台がある。もう随分前に生まれて初めて「演劇」というものにダイレクトに触れた時のこと。それは役者が舞台の袖にいて、さあ、これから出ていくぞ！という時に起こったハプニングを描いたコメディだった。その様子があまりに滑稽で面白く、まるで自分が舞台袖にいるような気分

を味わったのを覚えている。それを皮切りに私のオカシな観劇人生が始まるわけですが、昨日観た舞台より十数年前に脳裏に焼き付けられた「初めて触れた舞台」の映像のほうが鮮明なんです。既に色んな映画やテレビを観ていて、そこそこの人生経験を積んだ大人が、十数年たった今でも明確に思い出せるものがある。そんな経験したことありますか？まあ、あれが私の人生をオカシくしてしまったものには違いないんですが。

だからといって私は、とある舞台を観て人生観が変わったとか生きることに意味を知ったとか、そんな大層な経験はありません。ただ自分の気持ちの動きを瞬間を、それによって知ってしまったわけなんです。まあ大袈裟に言うならば、目の前がバツと明るくなった感じが。人間そんな体験をしてみましょうと、それ以前の自分にはなかなか戻れないもの。それ以来、より自分らしく楽しく生きるには、芝居が必要不可欠なものになったんです。

完全私情的、 演目選取法 1

タイトルで選ぶ

チラシと同様に作品のセンスを感じるもののひとつに「タイトル」があります。衝撃的なタイトルは、どこか頭の片隅に残っちゃう。「あんなタイトルをつける芝居ってどんなストーリーなんだろう？」と思わせたら、制作側の思うツボ。そんな時は、まんまと引っかかったと諦め、過剰な期待感を持っていざ、劇場へ。



おせいかい補足 公演の情報ってどう探す？

月刊タウン誌のステージコーナーを見たり(シアタービューフクオカを見たり)。インターネットで劇場や劇団のホームページ、プレイガイド、演劇情報サイトもチェックするとよいかも。



演劇のなんたるかを語るのなんて、おこがましい。ただちよつとだけ前のめりに、観ることの楽しさを知って欲しい。

構成文 筒井亜耶(シアタービューフクオカ)

シアタービューフクオカ THEATER View FUKUOKAって？

福岡・北九州市圏では初となる演劇に特化した情報誌。A5判8ページで、発行部数は1万部。隔月発行で、現在は第5号となる3・4月号を北九州芸術劇場でも配布中。話題性のある旬の役者が出演する演劇を特集で紹介するほか、演劇人による連載コラムや福岡都市圏の劇場・ホールの公演スケジュール一覧も。http://tvf-web.com/



前のめり 観劇の ススメ。

※ご注意

“前のめり”というのは観劇に対する気持ちについての表現で、客席での姿勢のことではありません。後ろの方のご観劇の妨げになりますので、お席では背中もたれにつけて、お気持ちは前のめりでお楽しみください。



開演プザーを得るなら

2

いつもは演出家や俳優さんなど創り手の方へのインタビューで舞台の魅力をお伝えしていますが、今回は「観客代表」の立場から演劇情報フリーペーパー「THEATER View FUKUOKA」編集長の筒井亜耶さんに、お芝居を観ることへの熱い思いを書いていただきました。

演奏会の企画・作曲・ピアノ演奏を一人でこなされる野平一郎さんと、共演者であるヴァイオリンの漆原啓子さん、チェロの向山佳絵子さんにお話を伺います。今年の響ホールフェスティバルは6月29日、30日の2日間にわたり開催されます。今回演奏される曲目も登場する演奏家も実に多彩で盛り沢山。企画を見せていただいた瞬間、なんて贅沢なプログラムなのだろうと感じました。

野平「最初は1日の企画だと思っていたのですが、2日間やれるということがわかって、ごく近年の作品を含めて本当にいろいろなアイデアを出しました。今回は20世紀に何が起こったのか、ということがわかるような作品を提案したのです。だからと言って音楽の歴史を学ぶことが目的ではないわけで、結局特に

有名な作品、傑作を選ぶ方向に落ち着きました。

テーマは初日を「時間」、2日目を「色彩」としています。どちらも20世紀を通して作曲家が自分の作品でどう表現するか考えて続けてきたテーマでしょう？ 時間をテーマにした初日は、リズムの改革者であるストラヴィンスキーの作品と、新しい手法で時間を表現したメシアン（メシアン）の作品と取りあげます。共演者が協調することの無い箇所があつて、全員で全く同じ動きをする箇所

もあるのがメシアン（メシアン）の作品ですね。また、僕の作品はいろいろな時間の意識を表現した作品です。3つの作品どれも違った時間の捉え方をしています。2日目のテーマは色彩です。アーン（アーン）のサロンの音楽ベルク（ベルク）やプーランク（プーランク）などの全く色合いの違う作品。バルトーク（バルトーク）の作品は色彩のコントラストという意味もある。ミヨー（ミヨー）はシュールレアリスティックで明るい絵画のイメージ、武満（武満）のカトレン（カトレン）はやや曇りぎみの雰囲気。こうしたいろいろな作品の色彩感を僕は抽象的に捉えています。問題は、そんなじよ（じよ）の演奏家とやったのではできない作品だということなのです。」

野平さんから漆原さんと向山さんお二方のご指名があったわけですが、共演されたことはどのくらいあるのですか。



Urushihara Keiko

漆原「野平さんとは本当にいろいろな演奏会で一緒にさせていただいています。モーツァルト（モーツァルト）のピアノ協奏曲（ピアノ協奏曲）を独奏されている野平さんを伴奏するオーケストラ（オーケストラ）の員として参加したこともありましたが、もちろん、私自身が野平さんの作品も弾いたこともありまして。野平さんは、近代（近代）の作品だけではなく、古典（古典）作品はきちんと、ロマン派（ロマン派）のものは実にロマンティック（ロマンティック）に演奏されます。どうしてこんなに全時代（全時代）を網羅（網羅）できるのかな、本当にすごい方ですね。」

「20世紀室内楽のグルメ」 シェフの腕を存分に発揮した期待のプログラム。

マルチな才能が奏でる、20世紀の室内楽の名品

野平一郎と仲間たち

Nodaira Ichiro
Urushihara Keiko
Mukoyama Kaeko

Resonance
in
HIBIKI HALL
レゾナンス in 響ホール



演奏者、作曲家だけでなく、プロデューサーとしてマルチな才能を発揮する野平一郎さんが、気心の知れた仲間と共に味わい深い20世紀の名曲を皆様に提供します。



に一言お願いできますか。
野平「難しい作品はありません。ずばり、20世紀の名作を名演奏でお届けします！」
〈2007年2月新橋にてインタビュー〉
取材：文／石田麻子
（昭和音楽大学オペラ研究所専任講師）

PROGRAM INFORMATION

公演情報

響ホールフェスティバル2007 「20世紀室内楽傑作選 —時間／色彩—」

◎2007年6月29日(金) 19:00開演(18:00開場)
6月30日(土) 15:00開演(14:00開場)

●北九州市立 響ホール

●出演

野平一郎(ピアノ)

漆原啓子(ヴァイオリン)

向山佳絵子(チェロ)

横川晴児(クラリネット)

林美智子(メゾソプラノ・30日のみ出演)

●演奏曲目

6/29

ストラヴィンスキー：兵士の物語

メシアン：世の終わりのための四重奏曲 ほか

6/30

野平一郎：演劇的組歌曲「悲歌集」より「思うことはいつも」

ミヨー：屋根の上の雄牛 ほか

◎チケット

各日 指定3,500円 一般自由3,000円

学生自由1,500円 (当日各500円増)

※2日間セット券 指定席6,000円

一般自由席5,000円(前売のみ)

発売日／2007年4月5日(木) 10:00～

●チケット取扱

(財)北九州市芸術文化振興財団、

北九州芸術劇場プレイガイド、響ホール、

電子チケットびあ(Pコード:254-247)、

ローソンチケット(Lコード:84017)、

ほか市内主要プレイガイド

プロフィール

野平一郎(作曲・ピアノ)

1953年東京都生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程を修了後、1978年よりフランス政府給費留学生として国立パリ高等音楽院に学ぶ。作曲、ピアノ伴奏、アナリーゼの各科をブルミエ・プリ(一等賞)で卒業後、パリにおいて作曲活動とピアノ伴奏を並行して行う。

ピアニストとしては、フランス国営放送フィルハーモニックをはじめヨーロッパの主要オーケストラと共演する一方、数多くの名手と共演、また多くの音楽祭に出演。

作曲家としては、旺盛な創作力を見せ、最近では今井信子によりアムステルダムでヴィオラのための「戸外にて」が初演され、2005年8月には、初のオペラ作品「マドルガーダ」がセント・ナガノ指揮、シュレシグ・ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)で初演された。2005年より静岡音楽館AOI芸術監督。

漆原啓子(ヴァイオリン)

東京都生まれ。1981年、東京藝術大学付属高校在学中、第8回ヴェニツァス・キー国際コンクールにおいて、史上最年少18歳で日本人初の優勝と6つの副賞を受賞し、翌年東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。これまでにポーランド各地での演奏旅行、「ブラハの春」音楽祭への出演の他、日本フィルヨーロッパ公演のソリスト、大阪センチュリー響のアジア・ツアーのソリストとして各国を回った。以後国内外の著名オーケストラとの共演、リサイタルなど広く活動。17歳の若さでデビューして以来、常に第一線で活躍を続け、昨年2006年はデビュー25周年を迎えたヴェトナム・ヴァイオリニストでありながら、意欲的にリサイタルシリーズを展開した。近年ストラディバリにも恵まれたこともあり、今まさに成熟し、更なる大きな花を咲かせる旬のヴァイオリニストである。

向山佳絵子(チェロ)

東京都生まれ。9歳よりチェロを始め、松波恵子、故郷江泰、レーヌ・フラジョー、毛利伯郎の各氏に師事。1985年、第54回日本音楽コンクール第1位入賞。1987年、東京藝術大学入学。東京文化会館で初のリサイタルを行う。1990年、ドイツ・リュベック国立音楽大学に留学し、ダヴィッド・ゲリンガスに師事。カザルスホールでの「向山佳絵子とチェロの世界」シリーズで5回のコンサート(1992-93年)、宮崎国際室内楽音楽祭への参加、JTアートホール室内楽シリーズのプランナーとして活躍。チェロのヤーノシュ・シュタルケル、ダヴィッド・ゲリンガス、ヴァイオリンのアイザック・スターンなど世界一流の演奏家たちとの共演も数多くこなす。一方、N響、都響、読響、日フィルなど主要オーケストラとも共演している。

野平「ピアニストに何も言わず要求もしない演奏家がいる一方で、漆原さんのようにきちんと伴奏者に対して意見を言う人もいます。僕の企画で、ピアノ伴奏法の連続講座を静岡のホールで行っているのですが、漆原さんにはヴァイオリン奏者として受講生の演奏に付き合ってもらい、伴奏者にいろいろな注文をしても良かったことがあります。そういう時にはつきりと物が言える、つまり音楽に対する「ひっかかり」がきちんとある人ですね。」

向山「私もお二方とは何度も共演させていただいています。今回は(世の終わりのための四重奏曲)と(カトリック)で二緒しますが、このメンバーで弾くのは2作品とも初めてです。」
1993年の開館以来続けてきている「響ホールフェスティバル」ですが、近年「ユニークさにかける」、「開館当初全国に誇っていた発信性を感じられない」といった意見も時折耳にするようになりました。こういった状況から脱却しようと

2007年からはフェスティバル・プロデューサーを選任・依頼して、フェスティバルだからこそ取り組むことが出来るユニークな企画を世に問おう、という方向が打ち出されました。

野平「聴衆をきちんと育てるという姿勢がみえるホールですね。そういうところで企画できるというのは本当に楽しいことです。それには本当にいい演奏が必要で、メシアンで人を感動させるには彼女達のような演奏家が絶対に必要なんです。ミヨーの「屋根の上の雄牛」は、演奏するのは「めっちゃくちゃ」難しいけれど(笑)、聴くのはとても楽しい曲ですよ。」



Mukoyama Kaeko

演奏してきました。何よりとても良い響きのホールだし、ここだとこんな感じで音が「飛んでいく」というのもわかっています。」

向山「私も何度も弾かせていただいています。このホールは、袖、楽屋やロビーの雰囲気も他とは違っているのがおもしろいのですが、その雰囲気のためにもあつて独特の緊張感がありますね。あと北九州はとってもお寿司が美味しい所ですよ(笑)。」

野平さんは2005年、2006年と2年にわたって響ホールで演奏会をされました。その際に事前レクチャーをしていただいていたのですが、話がお上手で演奏曲目の内容がとてもよくわかったと評判でした。

野平「実は、僕は人前で話をするのは苦手でした。フランスから帰国して東京藝術大学で講義をするようになってから、何とか話せるようになってきたかな。最近ではもう幼稚園なども含めていろいろなところでミニコンサートなどアウトリーチ活動もやるようになりました。今回も北九州で実現できるといいですね。」

響ホールフェスティバルの時であればできないことを野平さんに企画していただきたいという気持ちでお願いしたいのですが、最後

4/6-7

北九州芸術劇場【小劇場】

ラッパ屋第33回公演 「妻の家族」

妻の父親、伯母さん、はたまた妻の従兄弟の言いなりになって…。翻弄される夫は、一年後にはゴルフに狂い、宝塚にハマリ、借金まみれになっている。「妻の家族」は、妻の家族という異国を巡るトホホな冒険譚。07年春にお届けするラッパ屋の新作、ぜひ劇場でご堪能ください。

●作・演出 鈴木聡 ●出演 木村靖司、おかやまはじめ、福本伸一、弘中麻紀、岩橋道子、三嶋絵里子 ほか
 全席指定 ¥3500 4/6(金) 19:00 4/7(土) 14:00

好評発売中 電子チケットぴあ・Pコード●373-858 ローソンチケット・Lコード●82164



5/4-5

北九州芸術劇場【大ホール】

恋の骨折り損

蜷川幸雄演出による「オールメール」(男性俳優のみ)で演じるシェイクスピア喜劇。主役を務めるのは、映画やテレビなどで活躍する人気俳優で、演出の蜷川幸雄とは初めての顔合わせとなる北村一輝。共演には、姜暢雄、窪塚俊介、高橋洋など、いずれも人気・実力のある若手俳優が勢ぞろい。男女の心の機微を知的な会話で描いた本作を、「世界のニナガワ」はどのように描くのか。興味津々の舞台をお見逃しなく!

●作・脚本 W.シェイクスピア ●翻訳 松岡和子 ●演出 蜷川幸雄
 ●出演 北村一輝、姜暢雄、窪塚俊介、高橋洋、内田滋、月川悠貴、中村友也、須賀貴匡 ほか
 全席指定 S席¥9000 A席¥6000 B席¥3000 *B席予定枚数終了 5/4(祝金) 18:00 5/5(祝土) 13:00

好評発売中 電子チケットぴあ・Pコード●373-860 ローソンチケット・Lコード●82166



6/16

北九州芸術劇場【大ホール】

怪談牡丹燈籠

恋人・新三郎のもとへ、牡丹燈籠とともに焦がれ死にしたお露が訪れる。明治期の断家・三遊亭円朝で広く知られる物語。74年、杉村春子のために書き下ろされ文学座が初演したもので、今回は北九州芸術劇場初舞台の池内淳子が三役に挑みます。豪華な競演陣もお楽しみに。

●原作 三遊亭円朝 ●脚本 大西信行 ●演出 戌井市郎
 ●出演 池内淳子、前田吟、川野太郎、甲斐京子、坂口良子 ほか
 全席指定 SS席¥7000 S席¥5000 A席¥3000 B席¥2000 *当日とも
 5/16(土) 13:30/18:00

4月15日(日) チケット発売開始 電子チケットぴあ・Pコード●374-777 ローソンチケット・Lコード●82972



劇場チケットクラブ会員先行予約日
 電話予約 4/7(土) 10:00~18:00 P29
 引取期間:4/8~14

3/23-25

北九州芸術劇場【中劇場】

イッセー尾形のとまらない生活2007in小倉

鋭い洞察力で、人間の機微をユーモアたっぷりに表現するイッセー尾形のひとり芝居は、国内外で高い人気を集めています。さあ、今回はどんなネタが飛び出すのか?乞うご期待!

●出演 イッセー尾形
 ●演出 森田雄三
 全席指定 ¥4000
 3/23(金) 19:00 3/24(土) 19:00
 3/25(日) 15:00

好評発売中
 電子チケットぴあ・Pコード●373-046
 ローソンチケット・Lコード●81584

6/29-7/1

北九州芸術劇場【中劇場】

東京タワー オカンとボクと、時々、オトン

ジャンルを超えて活躍するリリー・フランキー氏による、初の自伝的長編小説「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」。亡き母と自身の半生を包み隠さず描き、なかなか語ることはできないけれども、誰もが共有する普遍的なテーマを読みやすい文体と知性あふれた視線でつづり、テレビドラマや映画などメディアを超えて多くの人の心を打った本作が、今年6月に舞台化されます。演出は、空間ビジュアルの美しさとスピード感あふれる演出で、大劇場から小劇場までエンターテインメント性の高い作品を生み出し続けている人気演出家・G2、脚本には、テレビ、映画界からも注目を集めている若手実力派・蓬萊電太を迎えます。舞台ならではの「東京タワー」にぜひご期待ください。

●原作 リリー・フランキー
 ●脚本 蓬萊電太(モダンスイマーズ)
 ●演出 G2
 ●出演 萩原聖人、加賀まりこ、林隆三 ほか
 ●企画・製作 キューブ/北九州芸術劇場
 全席指定 ¥6000
 6/29(金) 19:00
 6/30(土) 13:00/18:00
 7/1(日) 13:00

4月29日(祝・日)チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-515
 ローソンチケット・Lコード●84036

劇場チケットクラブ会員先行予約日
 電話予約 4/21(土) 10:00~18:00 引取期間:4/22~28 P29



演出/G2のじーつー

演出家・劇作家・演劇プロデューサー。91年~92年、升毅との劇団「MOTHER」の活動を経て、現在は演劇ユニット「G2プロデュース」主宰。独自の公演、パルコ劇場との共同作品、松尾貴史とのユニット「AGAPE store」などの活動のほか、昨年は初のミュージカル「アワハウス」の翻訳・演出、新橋演舞場で「魔界転生」の脚本・演出など、多岐に渡るハイペースな活動を展開。上方落語のネタを一本の舞台にまとめた当劇場のプロデュース作「地獄八景・浮世百景」の独特の美意識と可しみあふれる演出も記憶に新しい。

脚本/蓬萊電太◎ほうらいでんた

作・演出家。96年、舞台芸術学院演劇科本科卒業。99年に「モダンスイマーズ」を主宰の西條義将と旗揚げ。人が生きていく姿を、若い感性で骨太な群像劇として描く物語は多くの人々を惹き付け、今後の活躍に各界から大きな期待が寄せられている若手劇作家・演出家の一人である。

北九州芸術劇場でのグループ観劇受付中
 お申込み・お問合せ●北九州芸術劇場 宣伝営業課 TEL093-562-2520
 (10名様以上でお申込みください。北九州芸術劇場での主催公演が対象です。)

北九州芸術劇場
 チケットクラブ

チケットぴあ
 ロソンチケット

響ホール
 友の会

チケットぴあ
 ロソンチケット

*北九州芸術劇場と響ホールで行われる(劇)北九州芸術文化振興財団主催または共催の公演です。 *先行予約方法については29ページをご参照ください。
 *チケットのお買い求め、お問い合わせについては裏表紙をご参照ください。 *Pコードは「電子チケットぴあ」、Lコードは「ローソンチケット」でのご予約時に使用する番号です。
 *特に表記のない場合、当日料金は掲載料金の500円増となります。 *特に表記のない場合、北九州芸術劇場の開演は開演の30分前、響ホールの開演は開演の1時間前です。
 *特に表記のない場合、未就学児の入場は断っています。託児サービスをご利用ください。 [有料・要予約/お問い合わせ フリーダイヤル0120-8000-20 TEL093-882-5063]

8/2

北九州芸術劇場【中劇場】

子どもたちの劇場シリーズ2007

月猫えほん音楽会2007

満月の夜、都会の片隅に集まってきた猫たちが、月に絵本を映しながら、絵本の読み聞かせとジャズピアノの即興演奏を楽しむ! 絵本とジャズの素敵なセッションで、子どもも大人もめっちゃめっちゃ楽しいセッション・ライブが、この夏も北九州芸術劇場に登場です。

●演出 吉澤耕一 ●企画・構成 能祖将夫
●出演 佐山雅弘(ジャズ猫)、波多雅子(白猫)、本多愛也(マイム猫)、能祖将夫(読み猫)
◎全席指定 大人¥2500、子ども(5歳~中学生)¥1500 ◎8/2(木)14:00

5月27日(日) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-518
ローソンチケット・Lコード●84039

劇場チケットクラブ会員先行予約日

◎電話予約 5/19(土) 10:00~18:00 引取期間:5/20~26

パフォーマンス
ほか

8/7-8

北九州芸術劇場【中劇場】 提携公演

子どもたちの劇場シリーズ2007

ひとみ座 ひょっこりひょうたん島

64年から5年間にわたってNHKで放送された人気人形劇「ひょっこりひょうたん島」が帰ってきます。ドンガバチョやトラヒゲ、サンデー先生など、愉快なキャラクターが繰り広げる夢と冒険の世界は、楽しさ満点。知っている人には懐かしい、知らない人には新しい。ひょうたん島へようこそ!

●作 井上ひさし 山元護久 ●演出・構成 雪正一 須田輪太郎
●声の出演(録音使用) 熊倉一雄、中山千夏、楠トシ江、伊東牧子、増山江威子、江見京子 ほか
◎全席指定 大人¥2000 子ども(3歳~中学生)¥1000 ◎8/7(火)11:00/14:00/18:00 8/8(水)11:00/14:00

6月10日(日) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-520 ローソンチケット・Lコード●84040



劇場チケットクラブ会員先行予約日

◎電話予約 6/2(土) 10:00~18:00 引取期間:6/3~6/9

5/22-26-28-29

Choice 北九州芸術劇場【大ホール】 ほか

第37回北九州市ファミリー劇場 角笛シルエット劇場

●出演 劇団角笛によるシルエット劇 ●演目 ①やさしいライオン ②つのぶえのうた ③こぶたのマーチ
5/22(火)若松市民会館 5/23(水)八幡市民会館 5/24(木)・5/25(金)・5/26(土)北九州芸術劇場 大ホール
5/28(月)門司市民会館 5/29(火)戸畑市民会館 大ホール *いずれも10:30開演
◎親子¥1900、大人¥1200、子ども(3歳以上~中学生)¥1000 *当日/親子¥300増、大人・子ども¥200増 *チケット1枚につき、1公演のみ有効
*当日会場にて座席を指定させていただきます。受付にお越しください。

4月13日(金) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●784-725 ローソンチケット・Lコード●82341



9/6

北九州芸術劇場【大ホール】 提携公演

松竹大歌舞伎「二代目中村錦之助襲名披露」公演

◎【昼の部】13:00/【夜の部】17:30

●正札附根元草摺/二代目中村錦之助襲名披露「口上」/番町血屋敷/戻鶯色相扇
◎全席指定 SS席¥12000 S席¥10000 A席¥7000 B席¥4000(当日とも・但、前売終了の場合は当日券なし)

6月3日(日) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-331 ローソンチケット・Lコード●83799

劇場チケットクラブ会員先行予約日 ◎往復ハガキ 4/30(休・月)~5/11(金) 受付[5/13(日)11:00抽選] 引取期間:5/21~27

伝統芸能



(注)二部改め二代目中村錦之助(真夏)

出会いと喝采の日々

7/14-16

北九州芸術劇場【中劇場】

平成19年度公共ホール演劇製作ネットワーク事業

いとこ同志

まつもと市民芸術館の企画製作により、05年に初演され絶賛を浴びた作品の再演です。社会問題を鋭くえぐる作風で近年高い評価を得ている劇作家・坂手洋二の作・演出。二組のいとこを描いたこの作品は、坂手作品の中でも異彩を放つ舞台として話題になりました。多くの日本人が忘れて見向きもなくなっている夜行列車の中で、過去と現在、夢と現実が不思議に絡み合いながら展開します。世代を超えた多くの人の心に響く作品です。

●作・演出 坂手洋二 ●出演 渡辺美佐子、宮本裕子、向井孝成、佐野史郎
◎全席指定 ¥5000 ◎7/14(土)13:00 7/15(日)13:00 7/16(祝・月)13:00

5月13日(日) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-517 ローソンチケット・Lコード●84038



劇場チケットクラブ会員先行予約日

◎電話予約 5/5(祝・土) 10:00~18:00 引取期間:5/6~12

8/12

北九州芸術劇場【中劇場】

子どもたちの劇場シリーズ2007

子供のための
シェイクスピアカンパニー「夏の夜の夢」

子どもたちも楽しめるようにシェイクスピア作品を大胆かつリズムミカルに再構成し、毎年好評を博している「子供のためのシェイクスピア」が、この夏も北九州芸術劇場に登場。今年は、喜劇「夏の夜の夢」を遊び心あふれるユニークな演出でお届けします。妖精と人間、男と女、日常と夢世界、一夜の楽しい恋の大騒動の顛末はいかに? 子どもはもちろん、大人も一緒にシェイクスピアを楽しめます。

●作 ウィリアム・シェイクスピア ●脚本・演出 山崎清介
●出演 伊沢磨紀、福井貴一、佐藤馨、山口雅義、戸谷昌弘 ほか
◎全席指定 大人¥3500 子ども(中学生以下)¥2000 ◎8/12(日)14:00

6月17日(日) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-521 ローソンチケット・Lコード●84041



(左より) 山崎清介、福井貴一/撮影:石川淳

劇場チケットクラブ会員先行予約日

◎電話予約 6/9(土) 10:00~18:00 引取期間:6/10~16

8/25-26

北九州芸術劇場【大ホール】

子どもたちの劇場シリーズ2007

ブロードウェイ・ミュージカル「ピーターパン」

81年の初演からロングランを続けるブロードウェイ・ミュージカル「ピーターパン」。いつまでも少年の心を失わないピーターパンと、ダーリング家の子どもたちが夢の島ネバーランドで繰り広げる大冒険の物語は、日本中の子どもたちに夢と勇気を与え続けています。新しい出演者により、さらにグレードアップした「ピーターパン」にご期待ください。

●作 ジェームズ・M・バリ ●翻訳 秋島百合子 ●演出・潤色・訳詞 松本祐子
●出演 高畑充希、鶴見辰吾、剣持たまき、比企理恵、峯真琴、植木潤 ほか
◎全席指定 S席大人¥6000・子ども¥3500 A席大人¥5000・子ども¥2500
*子どもは3歳~小学生まで
◎8/25(土)15:30 8/26(日)11:00

6月24日(日) チケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●375-522
ローソンチケット・Lコード●84042

劇場チケットクラブ会員先行予約日

◎電話予約 6/16(土) 10:00~18:00 引取期間:6/17~23



ミュージカル

子どもたちの劇場シリーズ2007

子どもたちの劇場シリーズって? 北九州芸術劇場では、毎年夏休みの時期に、子どもも大人も楽しめる舞台作品の上演と、子どもたちが演劇に挑戦するワークショップを行っています。ぜひご家族連れ、お友だちと一緒に楽しみください!

7/5 Choice

九州交響楽団
第42回北九州定期演奏会

シュベルト生誕210年 オール・シュベルト・プログラム

生誕210年を記念して、歌曲王・シュベルトの魅力と存在感をお届けします。指揮は、マエストロ秋山和慶。そして、今話題のメゾ・ソプラノ・林美智子を迎えた「ます」、「魔王」といった歌曲の数々はまさに必聴です。さらに北九州公演では、シュベルトの代表作交響曲第7番「未完成」を演奏するスペシャルプログラム。本物のオーケストラの魅力を思う存分ご堪能ください。

- 出演 秋山和慶(指揮) 林美智子(メゾ・ソプラノ)
九州交響楽団(管弦楽)
- 曲目 交響曲 第7番(186番) 短調 D.759「未完成」
歌曲:ます D.550(プリテン編曲)
:糸を紡ぐグレートヒェン D.118(レーガー編曲)
:魔王 D.328(ペルリオーズ編曲)
交響曲 第4番 短調 D.417「悲劇的」 ほか

全席自由 一般¥3500 学生¥1500

7/5(木) 19:00/戸畑市民会館大ホール

お問い合わせ/財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661

4月17日(火)よりチケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●254-986 ローズンチケット・Lコード●84178



秋山和慶(指揮)



林美智子(メゾ・ソプラノ)



九州交響楽団

9/8 Choice

九州交響楽団
第43回北九州定期演奏会

地元音楽家との共演

九響が、地元・北九州で活躍するアーティストと共演する演奏会。

- 出演 九州交響楽団(管弦楽) ほか

全席自由 一般¥3500 学生¥1500

9/8(土) 16:00/響ホール

お問い合わせ/財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661

6月下旬よりチケット発売開始(予定)

5/25-7/8

合唱物語

「わたしの青い鳥2007」

参加者募集

ワークショップに参加した市民のみなさんの合唱と朗読でつづられる合唱物語「わたしの青い鳥」。今年も参加者を大募集。一緒に青い鳥をさがしてみませんか。

- 講師 樋本英一(東京混声合唱団指揮者)
大森智子(ソプラノ・藤原歌劇団団員)
- ワークショップスケジュール
5/25(金)~7/7(土)の毎週金・土曜日
金 18:00~21:00/土 13:00~17:00
- 公演 7/8(日) ●募集人員 100名ほど
- 募集条件 小学3年生以上(ワークショップに参加できる人)
- 参加費:¥3000 ●応募締切:5/7(月)必着
- ◎お問合せ/北九州芸術劇場 制作係 093-562-2530



撮影:藤本浩

7/24-29

子どもたちの劇場シリーズ2007

「チャレンジ!えんげき」2007

初めて出会った仲間たちが、劇作家・生田萬氏と地元の若手演劇人、劇場スタッフと一緒に、6日間かけて「えんげき」に挑戦。最終日には発表公演を行います。

- スケジュール 7/24(火)~7/28(土)
7/29(日)(午後発表公演)
- 対象 小学3年~6年生(全日出席できること)
- 定員 30名(応募者多数の場合は選考あり)
- 受講料 3,000円(保険料・材料費など)
- *詳細はお問合せください。
- ◎お問合せ/北九州芸術劇場 学芸係 093-562-2535

5/27-8-9月

ダンスラボ2007

第一線で活躍する振付家・ダンサーを招き、オーディションで選ばれた出演者と1ヶ月間の稽古を通してダンス作品を創り上げていくダンスラボ。今回の振付・演出には、パフォーマンシアター「水と油」よりダンサー・振付家のじゅんじゅん氏を迎えます。

- オーディション 5/27(日)11:00~17:00 *休憩あり
- 稽古 8/11(土)~9/7(金) *月曜休み
北九州芸術劇場/平日18:30~22:00
土日14:00~20:00
- 公演 9/8(土)・9(日)
- 対象 高校生以上の男女。ダンス経験不問。全稽古に参加できること。
- 募集人数 10名程度 ●応募締切:5/14(月)必着
- ◎お問合せ/北九州芸術劇場 学芸係 093-562-2535

4/28

北九州芸術劇場【中劇場】

朝日舞台芸術賞グランプリ受賞記念

北九州芸術劇場・パリ市立劇場・山海塾共同プロデュース作品

山海塾「時のなかの時—とき」

北九州芸術劇場・パリ市立劇場・山海塾の初の共同プロデュースにより誕生した最新作「時のなかの時—とき」。05年のパリ市立劇場での世界初演を経て、翌年、日本初演として北九州芸術劇場で上演。今年1月には第6回朝日舞台芸術賞グランプリを受賞しました。「都市の中にいくつも点在する日常の中の異空間、「時のなかの時」を入れ子のように作品のうちに込め、劇場へのいざないのつもりで作りました。」(天児牛大)。今年の山海塾の国内公演は、ここ、北九州芸術劇場のみ。天児氏からすべての観客へ贈られた、「劇場への招待状」ともいえる本作を、ぜひお楽しみください。

- 演出・振付・デザイン 天児牛大
- 音楽 加古隆、YAS-KAZ、吉川洋一郎
- 出演 天児牛大、蟬丸、岩下徹、竹内晶、市原昭仁、棚秋太洋、長谷川一郎、松岡大

全席指定 ¥4500

4/28(土) 14:00

好評発売中

電子チケットぴあ・Pコード●374-774 ローズンチケット・Lコード●82971



©Sankai Juku

5/19-20

北九州芸術劇場【大ホール】

シティボーイズミックス PRESENTS

「モーゴの人々」

毎回、北九州芸術劇場を笑いの渦に巻き込む「シティボーイズ」が、新しい笑いを引っさげて帰ってきます。多彩な才能と洗練されたセンスが見事にコラボレートするステージはますます進化していること間違いなし!この春も、シティボーイズミックスから目が離せない。

- 作 細川徹、シティボーイズ、中村有志
- 演出 細川徹
- 出演 大竹まこと・きたろう・斉木しげる(シティボーイズ)、中村有志、大森博史、ムロツヨシ

全席指定 S席¥6500 A席¥5500 *当日とも

5/19(土) 16:00 5/20(日) 14:00

好評発売中

電子チケットぴあ・Pコード●373-861

ローズンチケット・Lコード●82167



北九州芸術劇場の売場情報やワークショップの情報をお届けするメールマガジンを発行(不定期)しています。
北九州芸術劇場ホームページからメールアドレスをご登録ください。

●アドレス: <http://kitakyushu-performingartscenter.or.jp>、または「北九州芸術劇場」で検索

9/29

2007響シリーズ第2弾

工藤重典&ジェフリー・グライス デュオ・リサイタル

北九州市立 響ホール

フランスで活躍するフルートの工藤重典とピアノのジェフリー・グライスのデュオ・コンサート。今回は、ベートーヴェン、シューマンの隠れた名曲やロマンティックなストラヴィンスキーの調べなどを絶妙のコンビネーションで披露します。日本のフルート界の第一人者として世界を舞台に活躍を続けてきた工藤重典が円熟のときを迎え、心温まる演奏と楽しいお話で客席を包みます。

- 出演 工藤重典(フルート) ジェフリー・グライス(ピアノ)
 - 曲目 ベートーヴェン:10の異なる主題と変奏
ストラヴィンスキー:ディヴェルティメント〜バレエ『妖精の口づけ』ほか
- ☎指定席¥3500 一般自由¥3000 学生¥1000 *当日各500円増
☎9/29(土) 15:00

6月下旬よりチケット発売開始(予定)



ジェフリー・グライス(ピアノ)



工藤重典(フルート)

平成20・21年度 響ホール音楽アウトリーチ事業 登録アーティスト募集

響ホールを中心に地域への音楽文化の浸透のために、市民に身近に音楽を楽しんでもらい、クラシック音楽ファンになってもらうための「音楽アウトリーチ」を積極的に行っています。そのため、子どもたちや市民の目の前で優れた演奏を披露するアーティストを募集します。学校や地域でのアウトリーチコンサートの他、響ホールでのガラコンサートへの出演も予定しています。ふるってご応募ください。

●応募条件

- ◎住所:北九州市にお住まいか、通勤、通学の人。もしくは、北九州市内及びその近郊で音楽活動を行っているクラシックの演奏家。
- ◎部門:①声楽 ②ピアノ ③管楽器 ④弦楽器 ⑤打楽器 ⑥その他(ハープ・ハーモニカなど) ⑦アンサンブル(上記のジャンルで活動歴のあるグループ。アンサンブルは小編成とする。)
- ◎年齢:平成20年4月1日に満18歳から40歳位の人
- ◎その他:第2次審査、アーティストの研修会、平成20・21年度のアウトリーチコンサート、ガラコンサートをはじめとする当事業のスケジュールに全て参加できること。

●応募方法

専用の申込用紙を4月下旬より各区まちづくり推進課、市内主要施設で配布します。また(財)北九州市芸術文化振興財団音楽事業課のホームページ(<http://www.kicpac.org/music/main.html>)からもダウンロードできます。ご希望の方には直接郵送します。

●応募期限 7/31(火)必着 郵送可

●選考スケジュール

- 第1次審査…参加申込書とMD等の演奏録音を同封による審査。
 - 第2次審査…15分程度(1~2曲)、演奏曲目についてトークを交えた演奏をしていただいた後、5分程度の質疑応答。(9/9(日)、9/10(月)いずれか) ※第2次選考合格者は5人(組)程度を予定しています。
- 選ばれたアーティストは、平成20・21年度 登録アーティストとして平成20年4月以降市内の小学校や市民センターなどで年間3~4ヶ所アウトリーチ活動を行う予定です。終了後、響ホールにてガラ・コンサートを予定しています。

●お問合せ

(財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661



募 集

7/1

第31回北九州少年少女合唱祭

歌の大好きな少年少女たちの合唱の祭典。北九州少年少女合唱連盟に加盟している10団体が一堂に会し、純粋な歌声と心を合わせて歌う豊かなハーモニーを披露します。

☎入場無料 ☎7/1(日) 13:00/戸畑市民会館(ウエルとばた内)

☎お問い合わせ/(財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661

Choice

出会いと喝采の日々

5/19

2007響シリーズ第1弾

ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル

北九州市立 響ホール

音 楽

正確無比なテクニックと繊細かつ大胆な表現で多くの聴衆を魅了するヴァイオリニスト、ギル・シャハム。待望の4年ぶりの日本ツアーで初の響ホールでの公演が実現! 優れた技術を持つ演奏家として国際的に認められ、その演奏は一流オーケストラや著名な指揮者からの信頼を得ています。ピアノは彼の良き理解者であり、親友でもある江口玲。巨匠から天才と絶賛された完成された技巧と歌心溢れる美音をお楽しみください。

- 出演 ギル・シャハム(ヴァイオリン) 江口玲(ピアノ)
- 曲目 モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 K.306
J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ短調 BWV1003
ロドリゴ:ソナタ・ピンパンテ(粋なソナタ)
サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン(サラサーテ没後100年記念)ほか

- ☎全席指定 S席¥5000
A席¥3500
学生A席¥1500
*当日各500円増
*A席、学生A席は2階ステージ周り席

☎5/19(土) 15:00

好評発売中

電子チケットぴあ・Pコード●250-968
ローソンチケット・Lコード●83018



江口玲(ピアノ)



ギル・シャハム(ヴァイオリン)

8/1

北九州市立 響ホール

響ホール夏休みファミリーコンサート

ピアノとスライドでつづる動物たちの詩

仲道郁代の「光のこどもたち」

デビュー以来、人気、実力とも日本を代表するピアニストとして活躍する仲道郁代。あたたかい音色、叙情豊かな演奏で多くのファンに愛されている彼女が贈る家族全員で楽しめるファミリー・コンサートです。ピアノとスライドでつづる少年と動物たちの物語は、子どもたちに命の大切さ、尊さを伝えます。又、後半はモーツァルト、ショパンなどの名曲をお話しながら演奏。夢のような素敵な音楽の世界にお越しください。

- 出演 仲道郁代(ピアノ・おはなし)
- 作・演出 内藤裕敬(南河内万歳一座)
- 曲目 田中カレン:光のこどもたち
モーツァルト:トルコ行進曲
ベートーヴェン:エリーゼのために
ショパン:小犬のワルツ ほか

- ☎全席自由 一般¥2000 高・大学生¥1000 3歳~中学生¥500
*当日各500円増

☎8/1(水) 14:30

4月27日(金)よりチケット発売開始

電子チケットぴあ・Pコード●254-988
ローソンチケット・Lコード●84181

☎4月25日(水) 響ホール友の会先行発売



仲道郁代(ピアノ)



絵:長谷川義史

ナ・コ・レ

第4回

舞台美術という
お仕事

文・イラスト トミタユキコ

〈今回のナン・コレ〉

- 模型…実際の舞台そっくりのミニチュアを作って、演出家、照明、音響、大道具さんなどと舞台作りのやりとりをします。ナマ模型みましたがマジ見事!家に飾りたい!(笑)
- 道具帖…絵画的舞台デザイン図(こちらも見事!)と設計的舞台図の中間のような図。正面、両側面等多面的に描かれ、寸法・作成方法・材質説明文入りでカッコイイ!
- 書き割り…平面状の物に木や建物など背景を描いたもの。劇場にいらして、様々な世界へ連れていくくれる舞台の仕掛けのひとつ。本物よりリアルなものもあるよな!
- 板…演劇業界では「舞台」のこと。「おい、そこの板、板に持ってきておくれ!」なんて言うのかな。
- 舞台美術に向いてるヒト…いい加減、良い加減のヒト。神経質は×。

今回は、「舞台美術」というお仕事についてです。毎度のことながら、このお仕事も「筋縄ではいかなかったですな」。「舞台美術」は、作品の世界観を決める重要な「鍵」だと感じました。しかもその鍵と言ったら半端じゃない。作品に関わるあらゆるヒト・モノに合った「マルチ・キー」なのです。

まず戯曲を読み、演出家の脳みそに入り込んで、作品世界を掴む。その後、予算内での舞台構想。演出家と盛り合いの喧嘩も交えつつ(嘘)、意見交換し、携わるスタッフにも伝わりやすい模型や道具帖、舞台図案、設計図等を完成させ、作品世界の基盤を具体化。この毎工程で、鍵穴を見極め扉を開き、鍵としての主張もしつつ、最終扉＝本番に向かい突き進むのであります。(しかも決められた期日内で)

「舞台美術」は、構想やデザインだけかと思いきや、想像以上に多くの人と関わる。その都度、つながり、コミュニケーション、何より「伝えるチカラ」が大切なのだと痛感した。

「舞台美術」は、経験がモノを言うそう。といっても、生きてることで経験する「人生経験」!様々な経験を経験することで「舞台美術の世界」も大いに広がるそうです。

何はともあれ「舞台美術が好きなのだ!」という熱い思いにコテンパンに打ちのめされました。「どこでもできる」と言っていたけど、誰でもできる仕事じゃないよなあ。

クラシックの
コンサートなんて?!HIBIKI
サウンドブレイク
第4回

昨年はモーツァルトの生誕250年ということで世界中で数え切れないほどのモーツァルト関連のコンサートが催されました。北九州市内でも財団が主催する響ホール・フェスティバルを始め、さまざまな形でモーツァルトの音楽が流れました。さて、皆さんはそのうちの「ついで」も足を運ばれましたか?「クラシック音楽なんかい」「会場が雰囲気冷たく、よそよそしい」などといった理由で敬遠している人がいるのも確かです。

もともと西洋では一般大衆が享受出来る音楽とは、中世からルネサンス期を通じて教会で歌われるア・カペラが唯一のものでした。オペラにしても始まりは宮廷人だけが入る「こがで」という、極めて限られた人間だけのものだった。また創る側もその身分はあくまでも宮廷に仕える音楽演奏職人または作曲職人であり、現在の音楽家のように所謂アーティストとしての存在とは大きな違いがありました。あの天才モーツァルトにしても、よりよい条件で宮廷に仕えるべく父とともにヨーロッパを旅して歩いた、という事実がそのことを物語っています。

さて現在に話を戻しましょう。今、私たちはありとあらゆるジャンルの芸術に、お金さえ払えば触れることが出来ます。これはある



意味文化が爛熟している状況、ということも出来ます。しかし人間にはさまざまな好みというものが付き纏います。ロックにしか興味がないジャズこそ最高だ、演歌の方が心に響く、とさまざまな人がいるのが現実です。

しかし一度響ホールに足を運んだ人は、たちどころにそれまで知らなかった新しい感動に魅了されることでしょう。凛として澄み切った弦の響き、たった一台のピアノからピアノの手にて紡ぎ出されるダイナミックな音量と、漣がせせらぎのような繊細な音、また会場全体に響き渡るソプラノ歌手の高音から、ずんと腹に響くようなバスの声、これが人間の生きた声、まさに体が楽器だということを実感できます。

そう、クラシックの演奏家は伝統的に職人的訓練をつんで、やっとステージに立てるのです。と同時に現代に生きる彼らはその努力や苦労を表面には決して出さず、楽しく愉快地に、そして何よりも聞き手と同じ音空間を共有する喜びをこそ求めて演奏しているのです。ステージと客席が一体となって感動に浸る悦楽、これはジャンルを問いません。服装などジャンルでも何でも構いません。でもたまには最高のおしゃれをして出かけるのも楽しいものだと思います。

(文:音楽事業課/山根 康愛)

オーディエンス
インプレッションズ
~観客席から~

舞台のご感想をお寄せください。
Eメール/info@kicpac.org
郵便/〒803-0812北九州市小倉北区室町1丁目1-11
リバーウォーク北九州5階 芸術文化情報センター内
「ステージ通信O」感想係

次号掲載分締切り=5月末日

*郵便番号・住所・電話番号・氏名・ペンネームを明記の上
お送りください。*掲載の際、編集上で文章をまとめて
いただく場合もあります。

- ヘレンに表現を教えるということを描いた「奇跡の人」を勉強に入れて、演じるこの意味を問うている気がした。福岡までの帰路の列車のなかで、心地よい気持ちだった。それは多分、演劇や役者の問題を現実から乖離させることなく、しかも観客に負担をかけないよう描いている作者の演出の姿勢のおかげなのかもしれない。○春日市 眞野風来さん/福北演劇ネットワーク「雨かじり」
- 「冒険王04」を観たのはもう2年も前。まだ学生で、結構やりたい放題で、でも今は仕事をしたリ、上司に怒られたり、充実したり。でも舞台の上では、多少の変更があっても2年前と変わらない同じ空気を感じていて、すこしく懐かしかった。でも2年前とは観方を感じ方も違っていた。よかった。○八幡西区 井上イコウさん/北九州芸術劇場プロデュース「冒険王07」
- 不思議な印象の残る舞台でした。意味を理解することはできませんが、長い間この舞台のことをふと思い出すことが多かったこと予感があります。○山口市 池田誠さん/山海塾「金柑少年」
- 東京メトロポリタン・フラスコ・クインテット「グース」すきやき(11/10)
- ドラウエは、自分たちも良く知っている曲で、このような形で演奏されることも新鮮さがあって良かったです。石坂園十郎&ホセ・ガシャード(11/11)
- 素晴らしい声とピアノで、感動しました。若い今また将来を期待された時の演奏は是非聴いてみたいですね。小倉根原「グース」堀谷恵(11/12)
- 初めて来ました。以前から小倉根さんと堀谷さんのモーツァルトを聴きたいと思っていました。今回夢が叶って大満足です。それにしてもこの二人は凄いです。また素敵な企画を、提供したいですねーフーバ!!
- 響記24と「八重の桜」の仲間たち(11/16)
- 三人三様の素晴らしい演奏でした。本格的なアリアを堪能しました。きつくりとした歌謡、何かしら端正さを感じました。ジェスチャーも豊か、声も豊か、表情も豊かという事なしてです。
- サンクトペテルブルグ・バルマ(11/17)
- ゲネプロ見学とコンサートを見させていただきました。中学生からデビューを始めて今市内の大学に通っています。今までのような演奏を聴き、また数多くの舞台を踏んできましたが、この日は恍惚とした気持ちで、家路についた日はありません。ゲネプロ見学の時の岡田氏のお話など興味深く聞かせていただきました。本番の演奏も素晴らしい、非常に有意義な時間を過ごすことができました。
- バイフォルガンコンサート(12/15)
- 今までのバイフォルガンコンサートの中で一番感動しました。力強い音で、音のハーモニーが素晴らしいでした。坂本さんの歌とお話もステキでした。ありがとうございます。
- 響ホールのクリスマス(12/16)
- ソプラノ、チェンバロ、ヴァイオリン、各々が独自の表現力を高度に結び付けて、そのようにして、同じ目線で一体化して一つの音楽が出来上がる瞬間が見られたことに感動しました。日常生活では体験できない旋回を身体と心で感じられたことをとても嬉しく思います。
- 響ホール室内合奏団コンサート(1/28)
- 一人一人がのびのびと演奏しています。今回はトランペッターとピアノがすごかったです。

日程 5.1火
会場 大ホール
〇〇リサイタル公演 演目タイトル
〇〇00:00開演(00:00開場) 開催時間
〇〇一般¥0000 学生¥0000 前売料金
〇〇劇団〇〇 093-000-0000 お問い合わせ先

北九州市
芸術文化
振興財団
主催事業
●お問い合わせ先
北九州芸術劇場
芸術文化情報センター
☎093-562-2655

5.17木 中村絃子トーク&コンサート

大ホール
〇19:00開演(18:00開場)
SS席¥7000 S席¥6000 A席¥5000
B席¥4000 学生¥1000(小・中・高生)
☎(株)加来文機 093-661-0222

5.7月~14月 北九州市民劇場5月例会 民藝「浅草物語」

中劇場
7(月) 8(火) 9(水) 10(木) 11(金) 12(土) 13(日) 14(月)
13:30 18:30
*開場は開演の各30分前
☎会費*市民劇場会員でない方はお問合せください。
☎北九州市民劇場 093-541-0075

5.18金~20日 Next Generation's Theater 2007 さかな公団 月に吠える

小劇場
〇18日19:00開演(18:30開場)
19日①14:00開演(13:30開場) ②19:00開演(18:30開場)
20日14:00開演(13:30開場)
☎全席自由¥1500(当日¥2000) 劇場

5.19土 北九州子ども劇場 5月低学年部例会 人形劇団クラレテ「スーホーの白い馬」

中劇場
〇①15:00開演(14:30開場) ②18:30開演(18:00開場)
☎会費*子ども劇場会員でない方はお問合せください。
☎北九州子ども劇場 093-884-3834

5.19土~20日 シティボーイズミックスPRESENTS 「モーゴの人々」

大ホール
〇19日16:00開演(15:30開場)
20日14:00開演(13:30開場)
S席¥6500 A席¥5500 劇場

5.22火 坂本眞理ピアノリサイタル

大ホール
〇19:00開演(18:30開場) ☎¥2500
☎坂本眞理 090-1345-7774
西部沢井薬品株式会社 093-961-3662(佐藤真紀)

5.24木~26土 第37回北九州市ファミリー劇場 角笛シルエット劇場

大ホール
〇24日10:30開演(10:00開場)
25日10:30開演(10:00開場)
26日10:30開演(10:00開場)
☎子ども¥1000(当日¥1200) 大人¥1200(当日¥1400)
親子¥1900(当日¥2200) 劇場

5.27日 北九州交響吹奏楽団 第40回定期演奏会

大ホール
〇15:00開演(14:30開場) ☎¥800(当日¥1000)
☎北九州交響吹奏楽団 090-8838-8607(小野)

4.27金 28土 Next Generation's Theater 2007 のこされ劇場=蒲団-futon-

小劇場
〇27日19:00開演(18:30開場)
28日①14:00開演(13:30開場)
②18:00開演(17:30開場)
☎全席自由¥2000(当日¥2500) 劇場

4.29日 めぐみバレエアート14周年記念発表会

大ホール
〇14:30開演(14:00開場)
☎¥2500(当日¥3000)
☎めぐみバレエアート 0836-35-3663

4.29日 楽しいピアノコンサートNO.7

小劇場
〇14:00開演(13:30開場) ☎無料
☎名越ピアノ教室 093-471-7018

4.30日 ピアノとフルートコンサート2007 ~発表会と田中衣都・西村直子・ 市川美樹子によるジョイント~ (ピアノとフルートのミニライブ)

小劇場
〇14:30開演(14:00開場) ☎無料
☎子供と大人のためのピアノ教室 093-571-3558(西村)

5 MAY

5.3日 トリオ・ロス・ファンダンゴス タンゴの節句ツアー2007

小劇場
〇17:30開演(17:00開場)
☎¥3500(当日¥4000)
☎TLFライブいんふお 093-561-8314

5.4日 恋の骨折り損

大ホール
〇4日18:00開演(17:30開場)
5日13:00開演(12:30開場)
S席¥9000 A席¥6000 B席¥3000
(当日¥500増) 劇場

5.6日 2007春のもりつね音楽祭 —“音の駅”—VOL.7

小劇場
〇17:30開演(17:00開場) ☎¥2500(当日¥3000)
☎もりつね音楽事務局 093-964-2121(カフェアソル内)

5.11金~13日 Next Generation's Theater 2007 劇団 二番目の庭 崩壊

小劇場
〇11日19:00開演(18:30開場)
12日①14:00開演(13:30開場)
②18:00開演(17:30開場)
13日14:00開演(13:30開場)
☎全席指定¥1500(当日¥2000) 劇場

PROGRAM CALENDAR

4

5

6

*掲載情報は、北九州芸術劇場、観ホールで予定されている催しの一部です。 *公演時間料金などは変更の可能性があります。記載のお問合せに先にご確認ください。

4.13金 14土 北九州子ども劇場4月高学年部例会 「銀河鉄道の夜」

小劇場
〇13日 19:00開演(18:30開場)
14日①15:00開演(14:30開場)
②19:00開演(18:30開場)
☎会費*子ども劇場会員でない方はお問合せください。
☎北九州子ども劇場 093-884-3834

4.15日 北九州交響楽団 第97回定期演奏会

大ホール
〇14:00開演(13:20開場)
☎一般¥1300円(当日¥1500)
学生¥800円(当日¥1000)
☎北九州交響楽団事務局(大手町法律事務所内)
093-571-6023

4.15日 リトルコンサート

小劇場
〇13:00開演(12:30開場) ☎無料
☎村上ピアノ教室 093-434-1163

4.20金 レディス・やはた朗読の会

小劇場
〇14:00開演(13:30開場) ☎無料
☎レディス・やはた朗読の会 093-652-0640

4.21土 ジャズ・コレクション北九州2007 今年のテーマは・・・「日本の歌」

大ホール
〇15:00開演(14:30開場) ☎¥2000(当日¥2500)
☎(株)フロム・ワン 093-962-5011

4.21土 ピアノ発表会

小劇場
〇13:30開演(13:00開場) ☎無料
☎筒井広子 093-883-3252

4.22日 第45回北九州芸術祭参加 劇団青春座「最後の遺言状」

中劇場
〇13:30開演(13:00開場)
☎¥3000(当日¥3500)
☎劇団青春座 093-922-4995

4.22日 ピアノ発表会

小劇場
〇13:30開演(13:00開場) ☎無料
☎大木麻倫子 093-581-1546

4.28土 朝日舞台芸術賞グランプリ受賞記念公演 北九州芸術劇場・パリ市立劇場・ 山海塾共同プロデュース作品 「山海塾「時のなかの時」とき」

中劇場
〇14:00開演(13:30開場)
☎¥4500(当日¥5000) 劇場

北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

4 APRIL

4.1日 北九州市ジュニアオーケストラ 第10回スプリングコンサート

大ホール
〇15:00開演(14:15開場)
☎無料(要整理券)
☎北九州市ジュニアオーケストラ事務局 093-583-5282

4.2日 「小さな木の実とともに」出版記念 大庭照子リサイタル

小劇場
〇①14:00開演(13:30開場)
②18:30開演(18:00開場)
☎¥2500(当日¥3000)
☎(株)童謡 0120-17-2501

4.6金 ラッパ屋第33回公演 「妻の家族」

小劇場
〇6日19:00開演(18:30開場)
7日14:00開演(13:30開場)
☎¥3500(当日¥4000) 劇場

4.8日 北九州市歌謡音楽祭 第2回部門別カラオケコンクール

大ホール
〇11:00開演(10:15開場)
☎無料
☎北九州市歌謡音楽祭実行委員会 093-653-1981

4.8日 アミューデュフォレ コンサート

小劇場
〇15:00開演(14:30開場)
☎¥1000
☎アミューデュフォレ 093-581-1546(大木)

4.12木 北九州子ども劇場 小倉南ブロック 落語

小劇場
〇19:00開演(18:30開場)
☎会費*子ども劇場会員でない方はお問合せください。
☎北九州子ども劇場 093-961-7345

日程 5.1火 ○○リサイタル公演 演目タイトル
会場 大ホール
開演時間 00:00開演 (00:00開場)
観覧料 一般 ¥0000 学生 ¥0000
前売料金 劇団 ○○ 093-000-0000
お問い合わせ先

北九州市
芸術文化
振興財団
主催事業

劇場

●お問い合わせ先
北九州芸術劇場
芸術文化情報センター
☎093-562-2655

5.26土 第20回九州・山口ジュニアピアノコンクール開催記念 小山実稚恵ピアノリサイタル〜うつりゆく情景〜

☎14:00開演 (13:30開場)
☎一般自由 ¥4500 (当日 ¥5000)
学生自由 ¥2500 (当日 ¥3000)
☎九州・山口音楽協会北九州支部 [ヤマハ小倉店内]
093-531-4331

6 JUNE

6.3日 第18回 琴生流 大正琴 コダマ会発表会

☎12:30開演 (12:00開場) ☎無料
☎琴生流大正琴コダマ会 093-631-5085 (児玉)

6.9土 ピアチェヴォーレ コンサート 〜響きあうときやさしく楽しく愛しく〜

☎18:00開演 (17:30) ☎一般自由 ¥1000
☎ピアチェヴォーレ 090-1362-0397 (最上)

6.10日 ラルフ・デーリング(バリトン)と 北九州の仲間たち

☎14:00開演 (13:15開場)
☎一般自由 ¥3000 高校生以下自由 ¥2000
☎ぎじゅつやさんのピアノ店
093-622-1900 (江里口)

6.17日 西南女学院高等学校音楽部OG会 ジョイントコンサート

☎14:30開演 (14:00開場) ☎無料 (要整理券)
☎西南女学院高等学校事務室
093-583-5800 (完戸)

6.24日 Bouquet Musical (ピアノ・歌発表会)

☎13:30開演 (12:30開場) ☎無料
☎093-645-6016 (村上・飯田)

6.29金 響ホールフェスティバル2007 野平一郎プロデュース 20世紀 室内楽傑作選 時間/色彩

☎29日 19:00開演 (18:00開場)
30日 15:00開演 (14:00開場)
☎指定席 ¥3500 (当日 ¥4000)
一般自由席 ¥3000 (当日 ¥3500)
学生 ¥1500 (当日 ¥2000)
2日間通し券 (前売のみ) 指定席 ¥6000 自由席 ¥5000
☎(財)北九州市芸術文化振興財団音楽事業課
093-663-6661

4.15日 第32回北九州新人演奏会

☎14:00開演 (13:30開場)
☎一般自由 ¥1000
☎北九州音楽協会 093-881-0255 (山廣)

4.22日 花のコーラス合唱団「木曜会」演奏会 〜ピアノとうた(独唱)とコーラスと〜

☎14:00開演 (13:30開場)
☎一般自由 ¥1000
☎佐伯楽器店 093-671-1456

4.28土 北九州メモリアル女声合唱団 第7回定期演奏会

☎19:00開演 (18:30開場)
☎一般自由 ¥1000
☎北九州メモリアル女声合唱団
093-602-7609 (関根)

4.30日 ピアノコンサート

☎15:00開演 (14:30開場)
☎¥800
☎大山優子 090-9562-0094

5 MAY

5.11金 津島圭祐&吉武優 ジョイントリサイタル

☎19:00開演 (18:30開場)
☎一般 ¥2000 学生 ¥1000
☎國廣 093-962-1815

5.19土 2007響シリーズ第1弾 ギル・シャム ヴァイオリン・リサイタル

☎15:00開演 (14:00開場)
☎S席 ¥5000 (当日 ¥5500)
A席 ¥3500 (当日 ¥4000)
学生 A席 ¥1500 (当日 ¥2000)
☎(財)北九州市芸術文化振興財団音楽事業課
093-663-6661

5.20日 Fellowship Concert in Kitakyushu Mercer University & Seinan Jo Gakuin University

☎11:30開演 (12:30開場)
☎16:00開演 (15:30開場)
☎無料
☎西南女学院大学 093-583-5130 (阿部)

PROGRAM CALENDAR

4

5

6

※掲載情報は、北九州芸術劇場、響ホールで予定されている催しの一部です。※公演時間料金などは変更の可能性があります。記載のお問合せに先にご確認ください。

6.23土 若林かおりバレエアート・The 2nd performance

☎17:30開演 (17:00開場) ☎¥2000 (当日 ¥2500)
☎若林かおりバレエアート 093-922-1159

6.24日 北九州ドラマ創作工房Ⅳ 発表公演

☎未定 ☎無料 *観覧をご希望の方は事前申込みが必要
☎北九州芸術劇場 学芸係 093-562-2535

6.26火 北九州市民劇場6月例会 しゃぼん玉座「唄って語って僕のハーモニカ昭和史」

☎26(火) 27(水) 28(木) 29(金) 30(土) 7/1(日)
13:30 19:00
☎開場は開演の各30分前
☎会費*市民劇場会員でない方はお問合せください。
☎北九州市民劇場 093-541-0075

6.29金 東京タワー オカンとボクと、時々、オトン

☎29(金) 30(土) 7/1(日)
13:00 18:00 19:00
☎開場は開演の30分前
☎¥6000 (当日 ¥6500)

響ホール HIBIKI HALL

4 APRIL

4.1日 エル＝バシャ ピアノ・リサイタル

☎15:00開演 (14:30開場)
☎一般 ¥4500 高校生以下 ¥2500
☎北九州労音 093-571-0227

4.5木 仁川市立合唱団北九州公演

☎18:30開演 (18:00開場) ☎無料 (要事前申込み)
☎北九州市経済文化局国際交流課 093-582-2162

4.6金 第6回 調律師がお贈りするピアノのタベ 「笹部聡子ピアノリサイタル」

☎19:00開演 (18:30開場)
☎一般自由 ¥2000 (当日 ¥2500)
☎(社)日本ピアノ調律師協会 九州支部北九州地区会
ヤマハ小倉店 093-531-4331

6.2土 九州ハワイアン協会 北九州支部フラフェスティバル

☎11:00開演 (10:30開場) *両日共
☎¥1500 (当日 ¥1700)
☎九州ハワイアン協会 096-359-3738

6.3日 満里子の朗読教室 第13回朗読発表会

☎14:00開演 (13:30開場) ☎¥1000
☎作本満里子 093-391-1370

6.6火 東京佼成ウインドオーケストラ 北九州公演

☎19:00開演 (18:15開場)
☎一般 ¥3000 (当日 ¥3500) 学生 ¥2000 (当日 ¥2500)
☎(有)テイク・ウイング 093-533-1151

6.8金 民謡のつどい

☎10:30開演 (10:00開場) ☎¥500
☎小倉北区連合婦人会 093-521-7929

6.10日 第七回北九州民謡民舞音楽祭

☎11:00開演 (10:30開場) ☎¥1000
☎民謡俊潮会 093-592-7386

6.14木 倉本裕基ピアノコンサート2007初夏

☎18:30開演 (18:00開場)
☎S席 ¥6500 A席 ¥5500
☎H.I.P.SOUTHチケットサービス 092-524-8981

6.16土 怪談牡丹燈籠

☎①13:30開演 (13:00開場)
②18:00開演 (17:30開場)
☎SS席 ¥7000 S席 ¥5000 A席 ¥3000
B席 ¥2000

6.16土 17日 ビティナ・ピアノコンペティション 北九州地区予選

☎16日 10:25開演 (10:15開場)
17日 10:25開演 (10:15開場)
☎無料
☎(社)全日本ピアノ指導者協会北九州支部 093-561-4007

6.17日 劇団カッパ座公演 「ねこときんぎょ」

☎14:00開演 (13:30開場)
☎¥1600 (当日 ¥2000)
☎劇団カッパ座・小倉カッパ友の会
093-561-2066

響ホール“友の会”のご案内

チケット優先予約や料金割引など特典多彩。
音楽のある暮らしを愉しむ“友の会”会員募集中。

- A会員（法人会員）年間¥20,000
- B会員（特別会員）年間¥10,000
- C会員（一般会員）年間 ¥3,000

※年度途中での入会も同額です。

※会員期間は4月1日～翌年3月31日までの1年間です。年度の途中で入会する場合もその年度の3月31日までとなります。

会員特典（全会員共通）

①チケット料金割引

（財）北九州市芸術文化振興財団主催コンサートのチケット料金割引があります。ただし割引は会員ご本人様1枚分のみとなります。また響ホールで開催するコンサートについて、主催者のご協力で会員割引がご利用いただけるものがあります。（対象となるコンサートについては事前にお知らせします。）

②チケット優先予約

（財）北九州市芸術文化振興財団主催コンサートのチケットを一般発売に先がけて優先予約ができます。（対象外のコンサートもありますので事前にご確認ください。）

③チケットのお預かり

電話でご予約いただいたチケットをお預かりします。チケット代金をご入金いただいたうえで、チケットのお渡しは当日窓口にて行います。事前に郵送をご希望の場合は、別途送料が必要になります。

④情報誌の無料送付

イベント案内、財団主催公演の速報をはじめ、各種情報誌等を無料でお届けします。

⑤協賛店ご利用時の特典

カフェテラス「四季」（響ホール内）で利用いただけるお飲物券を入会時に進呈します。

法人・特別会員特典

（財）北九州市芸術文化振興財団主催のコンサートにご招待いたします。（対象となるコンサートは事前にお知らせいたします。）

●お問い合わせ・お申込み

響ホール友の会「響の友」事務局
〒805-0019 北九州市八幡東区中央2-1-1 レインボープラザ7F
（財）北九州市芸術文化振興財団内
TEL:093-663-6661 FAX:093-662-3028
（受付/月～金8:30～17:00 土・日・祝はお休み）

北九州芸術劇場チケットクラブのご案内

チケット先行予約ができて、ポイントもたまる。
特典満載のチケットクラブ会員を募集しています。

入会金 ¥500（年会費なし）

会員特典

①チケットの先行予約購入

北九州芸術劇場が指定する主催公演のみご予約できます。先行販売枚数を限定することがありますので、公演によってはチケットをお取りできない場合があります。先行予約でご購入いただける座席位置は、全て良いお席とは限りませんので、予めご了承ください。

②ポイント積立による割引サービス

「北九州芸術劇場」主催事業のチケットを購入されると、金額の5%相当のポイントがつきます。積立ポイントは100ポイント単位（1ポイント＝1円）で次回購入分よりご利用いただけます。1公演につきチケット4枚までポイントがつきます。ポイントを利用してチケットを購入する場合は、北九州芸術劇場プレイガイド、北九州市立響ホール、（財）北九州市芸術文化振興財団の窓口にて直接お越しください。窓口以外でポイントを利用したチケット購入は出来ませんのでご注意ください。

③公演情報誌の発行【年4回】 協賛店での割引サービス

北九州芸術劇場チケットクラブのカードを見せると、リバーウォーク北九州デコシティ内の協賛店または北九州市内の協賛ホテルにて、お得なサービスを受けられます。詳しい協賛店サービス内容は北九州芸術劇場のホームページ（http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp）または、お電話（093-662-8435 平日10:00～18:00【土日祝休み】）にて、お問い合わせください。

申込方法

窓口申込みのみとなります。下記の窓口で申込みください。

北九州芸術劇場プレイガイド【リバーウォーク北九州 5階】
北九州市小倉北区室町1-1-11 受付時間/10:00～19:00

有効期限

入会から翌年度末までです。

※途中ポイント加算があれば、加算日の翌年度末まで延長します。（年度とは、4月1日～翌年3月31日までのことです。）

お問合せ:TEL093-662-8435（平日10:00～18:00 土日祝休み）

先行予約のお申し込み方法、受付日は各演目によって異なります。

電話先行予約（対象公演） ●響ホール丹波館⇒先行予約日 4/7(土) ●東京タワー オカンとボクと、時々、オトン⇒先行予約日 4/21(土) ●いとこ同志⇒先行予約日 5/5(祝・土)
●月曜はん音楽会2007 5/19(土) ●ひょっこりひょうたん島⇒先行予約日 6/2(土) ●千秋のめいさく展「夏の夜の夢」⇒先行予約日 6/9(土)
●70年代ミュージカル「ピーターパン」⇒先行予約日 6/16(土)

ハガキ先行予約（対象公演） ●松竹大歌舞伎「二代目中村錦之助義経公演」⇒予約受付期間 4/30(休・月)～5/11(金) 必着 ※抽選5/13(日)



電話先行予約方法

先着順に受付、先行予約の予定枚数に達し次第、受付を終了いたします。

①先行予約受付日に電話をかける。

会員番号とメモを用意して観たい演目の先行予約受付日に電話をかける。

チケットクラブ会員先行予約会員ダイヤル

tel.0570-099990

（18:00にて終了）

※電話番号のおかけ間違いには十分ご注意ください。

※電話が混み合う場合がありますのでご了承ください。

※一部携帯電話、PHSからはつながりませんのでご了承ください。

☆10名様以上のご予約は、宣伝営業課093-662-2520

平日10:00～18:00にて承ります。

②会員番号・お名前・電話番号・公演名・希望公演日時・席種・枚数をオペレーターに伝える。

会員様お一人が先行予約で購入できる枚数は演目によって異なります。

③予約引取期限をメモする。

オペレーターが予約引取期限をお伝えしますので、メモしてください。

④チケットの引取方法を選ぶ。

窓口引取か郵送（送料はお客様負担になります）をお選びください。

予約完了

※予約後の変更・キャンセルはできません。

チケット窓口引取りの場合

引取り期間中に会員カードを持って引取窓口で購入。
（ハガキ先行予約の場合は返信ハガキも必要です）

引取窓口は下記の3箇所です。（詳しくは裏表紙をご覧ください。）

●北九州芸術劇場プレイガイド 10:00～19:00

リバーウォーク北九州5F TEL093-662-2655

●財北九州市芸術文化振興財団 9:00～17:00（土・日・祝日休み）

レインボープラザ7F TEL093-663-6661

●響ホール事務局 9:00～17:00

国際文化交流センター内 TEL093-662-4010

窓口で発券申込書に記入の上、会員カードをご提示ください。

※引取期間を過ぎると予約は無効となります。

チケット郵送の場合

引取り期間中に郵送希望者はチケット料金を送料を振り込む。
（窓口に来ていただく必要はありません）

チケット代金×枚数+送料500円（送料手数料はお客様の負担となります）

を予約引取期限内に下記口座へお振込ください。（窓口・ATM可）こちらで入金確認後、チケットを郵送させていただきます。

【銀行名】西日本シティ銀行室町支店 普通預金

【口座番号】1473019

【口座名義】北九州芸術劇場チケットクラブ

【取扱】電信

【振込者名】会員番号下5ケタ・氏名（必ずご記入ください）

チケット振込手数料等はお客様の負担となります。

先行予約で予約できなかったときは、一般発売でご購入ください。【一般発売場所】劇場窓口3か所（上記参照）、電子チケットびあ、ローソンチケット

※チケットクラブ会員規約により、営利目的のチケット転売（ネットオークションなど）は禁止されています。

そあべ

北九州芸術劇場から徒歩5分、ご観劇帰りに立ち寄れるイタリアンダイニング。自家製パスタや旬素材を使ったオースメディッシュ、デザートまでメニューも豊富です。特にこの春は写真賞の二品（他、ハマグリコンソメスープ（750円）、馬肉のカルパッチョ（1100円）などあり、オーナーこだわりのイタリアンワインもい

- 小倉北区船場町6-1 アザビルB1
- TEL093-521-3680
- 17:30～24:00（日曜は22:30まで）
- 月曜店休



この春のおすすめは旬野菜のコンソメスープ（手前）、フグ白子とオリーブオイルのフリット（奥）。



感動の余韻を楽しみながら、

演劇や音楽コンサート後の、感動の余韻に浸りながら、美味しいグルメを味わいながら語らいのひとときを楽しませんか。きっと印象深い時間を過ごしてくれますよ。

グルメで語らいのひとときを。

アフター・ステージ

CAFE ITCH

子供連れのママさんや若いカップル、そして近所のおばあちゃんまで幅広い層に支持される八幡駅前のCAFE ITCH。日替わりで数種類から選べるランチ（スープ、サラダ、ドリンク付。※土日もOK!）は800円〜。食事はもちろん、夜はお酒に合うメニューも充実しているのでゆっくり飲みたい時にもおすすめです。「お客様が好き

- 八幡東区西本町2-2-1 さわらびガーデンホール3階街1階
- TEL093-671-7787
- 営業時間:11:30～23:00（金・土・日・祝）
- 火曜店休



人気メニューの焼きカレー（奥）と、オムライス（手前）。

